Ⅰ. 地域福祉とは

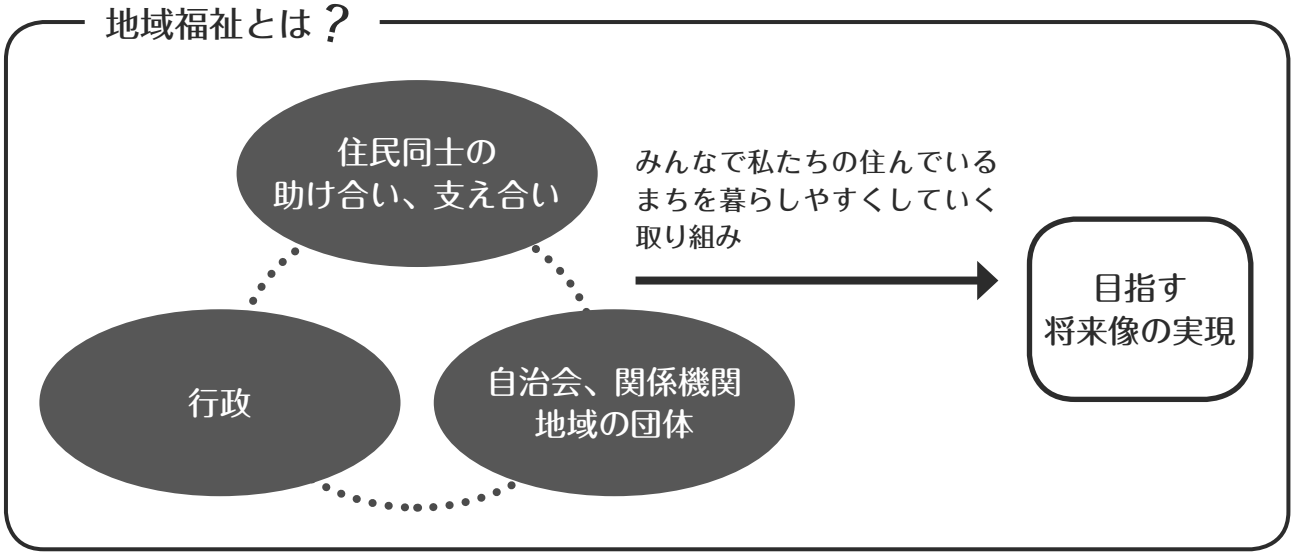
1. 地域福祉とは

住民一人ひとりがその地域でいきいきと自立した生活を送ることができるよう、地域の住民や自治会、行政、関係機関等が力を合わせて、みんなで私たちの住んでいるまちを暮らしやすくする取り組みのことです。

私たちの身の回りには、高齢で介護を必要とする方や障害のある方、ひとり暮らしの高齢者、子育てや家族の介護で悩む方、また交通の不便な地域で暮らす方など、さまざまな悩みや不安を抱えており、何らかの支援を必要としています。

行政機関は、このような問題を抱えている方を支援するために、福祉の充実に努めていますが、問題が多岐にわたっていたり、一人ひとりが抱える問題が違っていたりして、全てを行政が主導で行う福祉は困難な状況です。

そこで、必要になるのは、同じ地域に暮らす住民同士が助け合い、支え合いながら、みんなで力を合わせて取り組んでいく『地域福祉』なのです。



【地域福祉活動計画とは？】

地域福祉活動計画とは、社会福祉法において地域福祉を推進する中心的な団体として位置づけられた社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

※全国社会福祉協議会の定義（平成 15 年）